

京田辺市女性交流支援ルーム

「ポケット」だより



2024年
秋号

女性交流支援ルームでは、女性の社会進出につながる支援の一環として、女性の就労支援や、一人ひとりがキラリ輝き生きるためのヒントにつながる講座「ポケットサロン」の開催などを行っています。また女性が生きていく中でのさまざまな悩みをお聴きし、ともに考え、心の整理をお手伝いする「女性の相談室」を実施し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを行っています。



ーポケットひろばー

本年7月から、新しい事業として「ポケットひろば」を始めました。「ポケットひろば」は、参加する人がCDを聞いたり、本の話をしたり、簡単な手作業をしながら、自由におしゃべりをする女性の交流の場です。テーマについては、その都度みなさんのご意見を聞きながら進めていきたいと思っています。

家から一歩外に出てリフレッシュしませんか？ 気軽に参加してください。

今年度の開催は、毎月第1月曜日（10時30分～15時）です。



ー女性に対する暴力をなくす運動啓発講演会を開催しましたー

11月22日（金）に（株）ウィメンズカウンセリング京都の廣瀬理恵子さんを講師にお招きしました。

友人、仕事、恋愛、家族、それぞれの悩みの後ろに暴力が隠れています。家庭内ではDV（ドメスティック・バイオレンス）、職場ではパワハラ（パワー・ハラスメント）です。

「DVかなと思ったら～わたしたちのできること～」のタイトルでDVの起こる背景、現状、被害者へのダメージ、子どもへの影響、対応などについてお聞かせいただき、事例を取り入れて参加者が隣の人と話し合い、考える機会となりました。

わたしたちのできること・・・講師の廣瀬さんは、『DVやパワハラを見かけた時、「きつく言われていたけど大丈夫？」などと声をかけることや、あなたの表情ひとつで傷ついた人の心は変わり、救われます。一人ひとりが感心をもつこと、安心できる人となることが大切』とお話しされました。

一人ひとりが相手を思いやる気持ちを大切に、暴力をなくすためにできることを考えてみましょう。

アンケートの一部をご紹介します

- ・DVを身近なこととして捉え、意識しようと思うきっかけになりました。（20代 女性）
- ・優しい語りで安心して聴くことができました。DVと虐待、身近なこととして関心をもちすぎたいと思います。（40代 女性）
- ・DVとその仕組み、影響について非常にわかりやすく学ぶことができました。（20代 女性）



個性キラリ☆自分流

第54回

子どもの安心・安全を大切に

さまざまな分野における男女共同参画を推進するため、性別にとらわれず個性を発揮し、活躍している人を紹介します。



▲ファミリー・サポート・センター
まかせて会員

窪木 信吾（くぼき しんじ）さん

―趣味は―

長年ラグビーに携わっていて、最近は大統領クラブの監督やラグビースクールの指導員のボランティアをしています。
サポートを優先しているとなかなか行けませんが、旅行をするのも好きです。

―活動の内容は―

ファミリー・サポート・センターまかせて会員の活動は、小学生までのお子さんを自宅で見守り、送り迎えや子どもの送迎などを行い、子育てのお手伝いをする事です。
私の場合、主にお子さんの送迎を行っています。今のところ、週5で6件の送迎を行っています。大体が学童保育の所までお子さんを車でお迎えに行き、その後は習い事に送ることが多いです。京田辺市に転居されたばかりで、学童に入れなかったお子さんを近隣の友人の所まで送迎したり、お子さんをお母さんが営むお店まで送ったりするパターンなどもあります。

―まかせて会員になられたきっかけと経緯は―
元々は小・中学校の教員をしていて、働いていた時は、子どもを持つ同僚が勤務後に急いで保育園に迎えに行くのを間近で見ている。その頃から、少しの間でも子どもを預かったり、保育園のお迎えに行ったりすると助け

になつて喜ばれるのではないかと思っていました。まかせて会員になったのは、退職後にファミリー・サポート・センターの掲示板を見て、興味を持ったのがきっかけです。

―活動をしていて良かったこと、大変なことは―
利用者さんから「ありがたう」と言われます。「助かりました。」と感謝されると、やっていて良かったと感じます。

大変なことは、送迎の件数が増えてきたので、スケジュールの管理が大変です。大半の送迎が30分～1時間で終わるので、習い事が大体夕方4時～5時くらいまでの時間帯が多いので、「何分でお迎え行かなくてはいけなく」と考えて、時間を調整する必要があります。

―家族の反応は―

妻に「まかせて会員になつてくつ活動をしてたら皆から喜ばれるんじゃないか」という話をしたら、「そうだね」と理解して応援してくれました。妻や親族も子どもに関わる仕事をしていたので、幼稚園児を預かってほしいという依頼が入った時には、皆協力して助けてくれます。

―日頃心がけていることは―

お子さんを車に乗せるので、安全運転を第一に心がけています。
また、お子さんの方が感染症のリスクが高いので、まず自分が健康でいることに気を付けて、病気をもらわない、うつさないように、車内ではマスクを付けるなどの対策をしています。

―今後の目標は―

今後、子どもの安心と安全を大切にしていきたいと思っています。

依頼があれば、自分の予定の合う限り、できるだけお引き受けするつもりです。いた窪木さん。今後も子どもと保護者の力強い縁の下で力持ちであり続けたいです。

詳細版はHPをご覧ください！

女性交流支援ルーム情報ボックス等利用団体の紹介

男女共同参画に係る各種市民団体の情報交換、交流促進、活動支援を行っています。
現在、10団体が登録されています。新規登録団体も募集しています。詳しくは、女性交流支援ルームまでお問い合わせください。

<新日本婦人の会 京田辺支部（略称：新婦人）>

京田辺支部は、京田辺市の女性の様々な願いの実現を目指し、地域班でつながりを持ち、多様な活動をしています。

学習会や、サークル活動（ヨガ・新聞ちぎり絵・ドレミくらぶ等15程）、年に1度、地域の要望をまとめて、市に提出しています。

※案内リーフレットは、女性交流支援ルームに置いてあります。

交流スペースでの活動の様子です。

新婦人のサークル活動の一つ、「食べ物通信を読む会」の皆さんが、環境問題のDVDを視聴されました。



「女性の相談室」より

ひとりで悩んでいませんか？女性の相談室では、女性の抱える悩みの解決に向けて、専門相談（フェミニスト・カウンセリング）や法律相談を下記のとおりに、女性のカウンセラーや弁護士などが丁寧にお話を伺います。

京田辺市
女性交流支援ルーム
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間
月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

▶ 専門相談 場所 女性交流支援ルーム

12月 5日(木)・12月19日(木)・12月20日(金)
1月 9日(木)・1月16日(木)
2月 6日(木)・2月20日(木)・2月28日(金)

①13:30～ ②14:30～ ③15:30～

▶ 出張専門相談

1月24日(金) 南部まちづくりセンター

①10:00～ ②11:00～ ③12:00～

▶ 法律相談 場所 女性交流支援ルーム

12月25日(水)・1月22日(水)・2月26日(水)

①13:30～ ②14:00～ ③14:30～

ご利用にあたり、予約が必要です。で、「女性の相談室」にお電話ください。料金は無料です。

情報ライブラリー

本・DVDの紹介

情報ライブラリーでは、各種情報や資料を収集し、男女共同参画に関する図書、DVDの貸し出しをしています。その一部をご紹介します。お気に入りの一冊が見つかるといいですね。



本

『護られなかった者たちへ』

中山 七里著

仙台市で発生した殺人事件。なぜ彼はこんな無残な殺され方をしたのか？罪と罰、正義が交錯した先に導き出されるのは、切なすぎる真実。

『大ピンチずかん』

鈴木 のりたけ著



「ああ、もうだめだ。終わった。これは大ピンチだ！」君がそう思うのはどんな時？この1冊で、もういっつピンチがきても大丈夫だ。



DVD

「『マダム・イン・ニューヨーク』

監督 ガウリ・シンデー
出演 シュリデヴィ 他



シャシは、二人の子供と夫のために尽くす、ごく普通の主婦。彼女の悩みは、家族の中で自分だけ英語ができないこと。姪の結婚式の手伝いで一人NYへ旅立ち、仲間とともに英語を学んでいくうちに、夫に頼るだけの主婦から、ひとりの人間としての自信を取り戻していく。

図書はこのような分類して所蔵しています。

・からだ・こころ
・家族・子育て

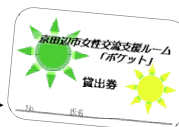
・生き方
・仕事

・暴力(DV・性暴力など)
・男女共同参画・女性学・男性学

・絵本・シリーズもの など

初めてのの方は「貸出券」をお作りします。借りたい図書・DVD等を交流スペースにお持ちください。ぜひ手にとってご覧ください。

貸出券→



情報ライブラリー

図書等を借りることができます！

市内在住・通勤・通学の方なら、どなたでも図書等を借りることができます。
図書は、お一人2冊2週間まで
ビデオ（DVD）は、お一人1本1週間まで
※くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

交流スペース

市民のみなさんの交流の場等にご利用できます！

情報ボックスのご利用については、登録が必要になります。
※団体やグループでの利用について、くわしくは女性交流支援ルームにお問い合わせください。

「女性の相談室」

女性が生きていく中でさまざまな悩みをお聴きし、あなたとともに考え、心の整理のお手伝いをします。一人で悩まず、安心して、ご相談ください。秘密は厳守します。

一般相談（予約不要）

月曜日～金曜日
午前10時～正午
午後1時～5時

専門相談（要予約）

（フェミニスト・カウンセリング）

毎月 第1・3木曜日
偶数月 第4金曜日
午後1時30分～4時30分

法律相談（要予約）

毎月 第4水曜日
（祝日の場合は第3水曜日）
午後1時30分～3時

料金は無料です。まずはお電話ください。

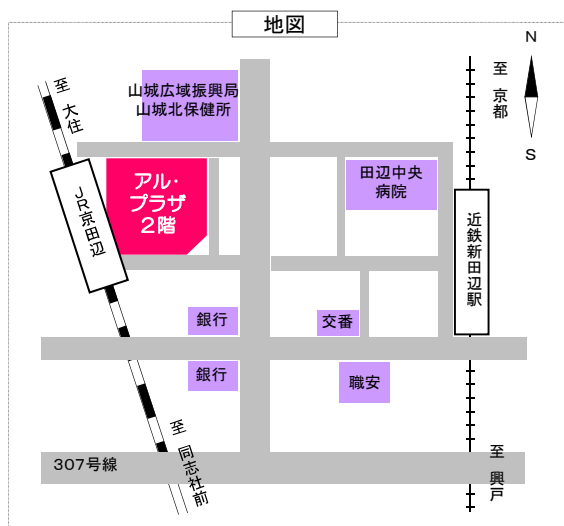
「女性の相談室」

専用ダイヤル

(0774)65-3727

受付時間

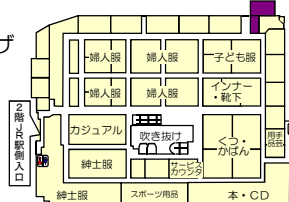
月曜日～金曜日
午前10時～午後5時



アクセス

JR 京田辺駅すぐ
近鉄 新田辺駅 徒歩5分
（アル・プラザ京田辺2階）

アル・プラザ
平面図



こちらが
女性交流支援ルーム
「ポケット」です。

開室日
開室時間
休室日

月曜日～金曜日
午前10時から午後6時まで
土・日・祝日 年末年始
アル・プラザ京田辺休業日

京田辺市 市民部 人権啓発推進課
京田辺市女性交流支援ルーム「ポケット」

TEL/FAX 0774-65-3709（直通）
〈相談専用〉TEL 0774-65-3727

愛称「ポケット」は、小さいけれど、いつでも情報が取り出せ、誰もが集まりやすい場所という意味で一般公募により名付けられました。

